

このまちの100年

「金沢」

金沢は戦国時代、加賀一向一揆の拠点として始まり、その後、金沢城の城下町に。江戸期の加賀藩は日本最大の石高『加賀百万石』を誇り、経済・文化が発展、現在もその伝統は引き継がれています。



大正期

平屋建ての地上駅舎だった金沢駅。馬車も見える



大正15年頃

広坂通りを路面電車が走っていた頃の風景。右は金沢市役所



昭和5年頃

金沢城の代表的な遺構である石川門。明治期以降は陸軍、戦後は金沢大学が置かれ、現在は金沢城公園



昭和30年代

卯辰山より金沢市街を望む。手前を流れるのは浅野川



昭和30年頃

金沢市の中心地、香林坊を走っていた北陸鉄道金沢市内線の路面電車



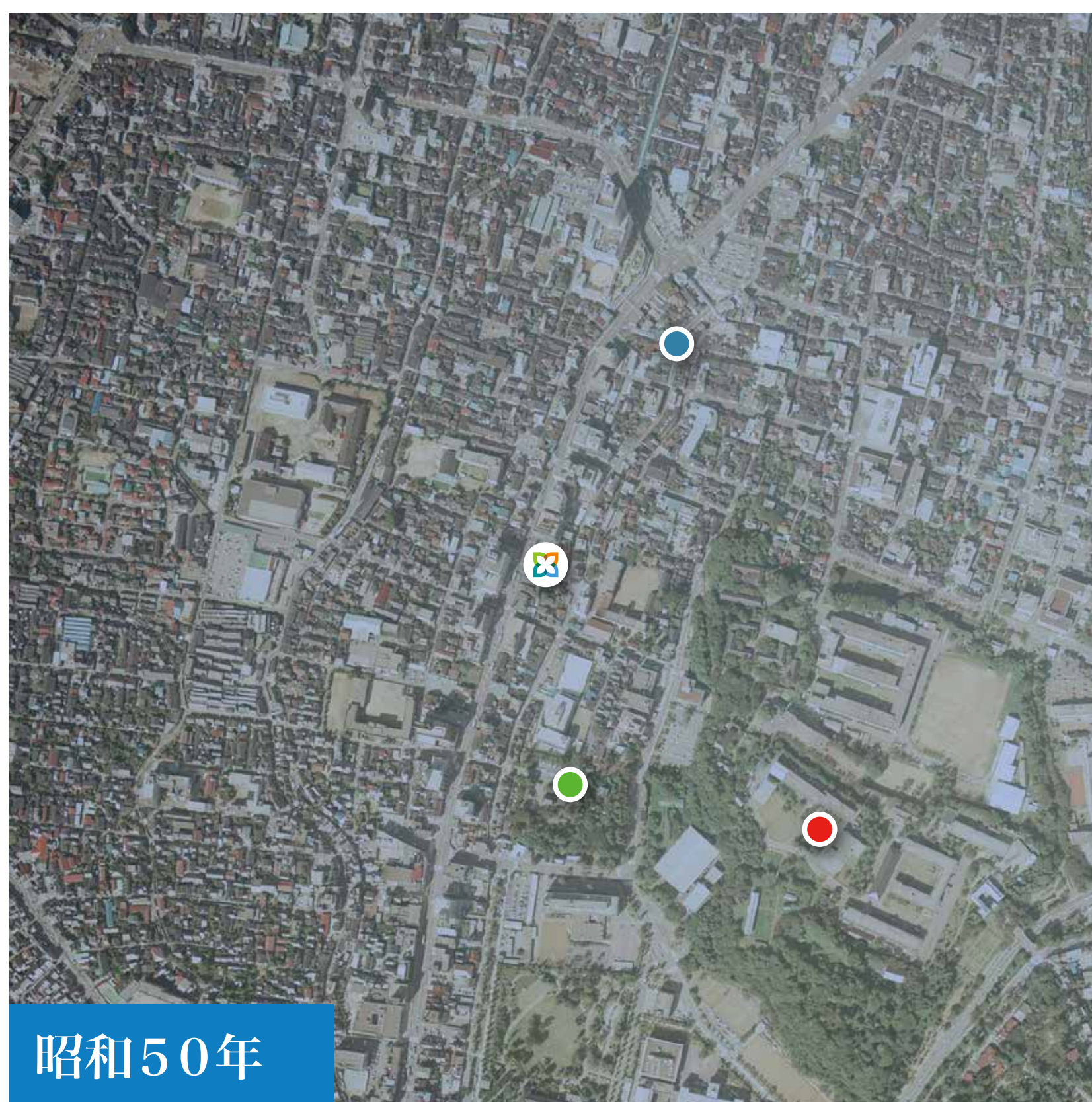
昭和30年代

丸越百貨店があった頃の武蔵ヶ辻付近。ボンネットバスやオート三輪が走っている

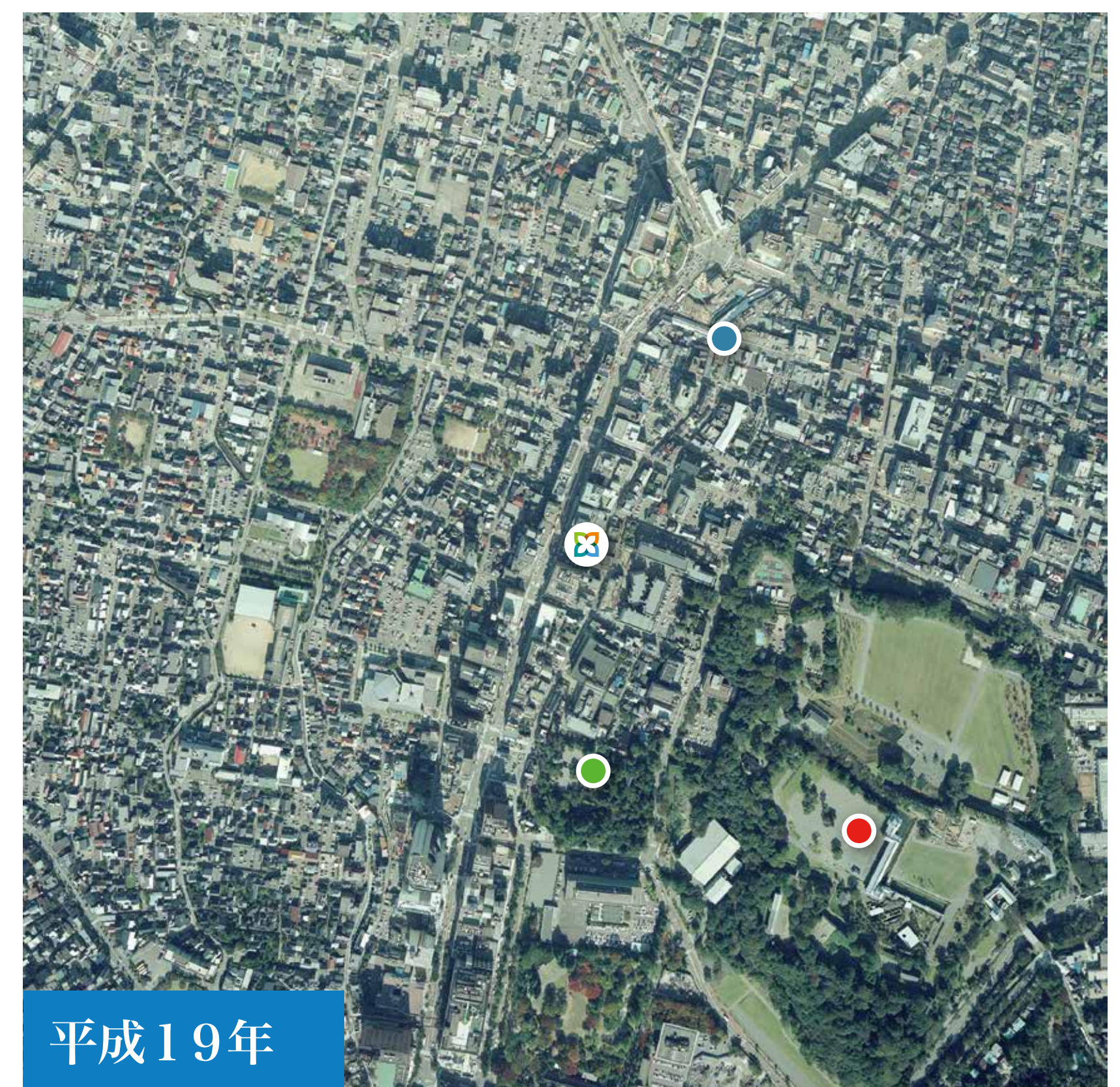
上空からみた金沢エリア



昭和21年



昭和50年



平成19年

：現在地

：近江町市場 ：尾山神社 ：旧陸軍第九師団 司令部庁舎／金沢大学 丸の内キャンパス／金沢城公園

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ